

奥伊吹国有林でのシカの捕獲について

1 概要

森林におけるニホンジカの被害については、その個体数の増加により、植栽木や立木への被害はもとより、下層植生の消失による土砂流出など、近年、極めて深刻な状況にある。これに対応して、ニホンジカによる森林被害を軽減するため、滋賀森林管理署と米原市が連携して、囲いわなによるシカの捕獲を実施する。

2 事業内容

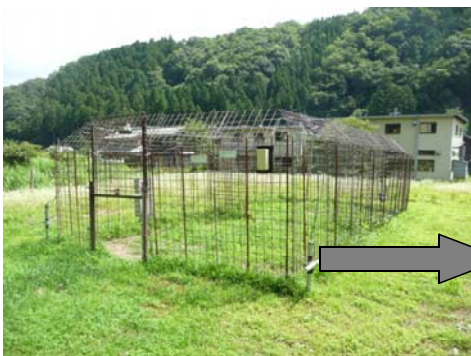
(1) 誘引状況調査

誘引地点4～6箇所を設定し、2週間程度の期間、隔日で誘引餌としてヘイクューブ(注1)を配置し、自動撮影カメラにより誘引状況の調査を行う。撮影されたニホンジカの頭数により評価し、わな設置場所3箇所を選定する。



(2) 囲いわなによる捕獲

誘引状況調査で選定した地点に囲いわな(4m×4m)3基を設置する。わなの内部及びその周囲に誘引餌を配置してニホンジカを誘引し捕獲する。なお、誘引状況調査イメージ
囲いわなのゲート部分にはAIゲート(注2)を設置する。囲いわな設置後は原則、毎日給餌・見回りを行うとともに、囲いわなの付近に、自動撮影カメラを設置し、誘引状況を撮影・記録する。捕獲したニホンジカは、殺処分後、現地で解体し、梱包し搬出する。



(注1) 乳牛の飼料となる牧草を乾燥させたもの
(注2) ゲートを通るニホンジカの数をも自動でカウントし、毎日のカウント数に基づいて捕獲数を最大化できるプログラムを搭載している。

囲いわなのイメージ

3 事業実施箇所

滋賀県米原市甲津原 奥伊吹スキー場ゲレンデ

【問い合わせ先】

林野庁近畿中国森林管理局

滋賀森林管理署

担当者: 落窪 弘行

電話: 050-3160-6115 FAX: 077-544-3867